

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 マタイ6:33 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 25番 おおくのかむり
- *交読文 …… 43番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 155番 さかえあれ、死に勝ちて
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …… 346番 ナルドの壺
- メッセージ …… 「リシオン(רִישׁוֹן)」法則(1列王記 17:8-16)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …… 340番 主と主のことばに
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

神は、みこころのままに、___のうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。それは、___が、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中にあって傷のない神の子どもとなり、いのちのことばをしっかり握って、彼らの間で世の光として輝くためです。そうすれば、私は、自分の努力したことがむだではなく、苦労したこともむだでなかったことを、キリストの日に誇ることができます。(ピリピ 2:13-16)

きょうは生えていて、あすは炉に投げ入れられる野の草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、___に、それ以上よくして下さらないはずがあるのか。ああ、信仰の薄い者たちよ。だから、何を食べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようかと言って思いわずらうな。これらのものはみな、異邦人が切に求めているものである。___の天の父は、これらのものが、ことごとく___に必要であることをご存じである。まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。(マタイ 6:30-33)

私の人生、何故か真っ直ぐには進まないで、いつもでこぼこ道を進んでいるようで、疲れる。というような事は無いだろうか。物事には優先順位があり、その優先順位の最初(ファースト)を間違えると、あたかも、最初のボタンをかけた間違えて着てしまった服のように、非常にちぐはぐになってしまう。ファーストを正しく行うなら、続くセカンド、サードは全てうまく行く。今回、人生の「ファースト」をどう据えるべきか、学びたい。

「ファースト」「まず」を、ヘブライ語では「リシオン(רִישׁוֹן)」という。神の国の事を「リシオン」にすれば、あとには神様が全部、責任取って下さり、そうすれば人が切望する「食べもの」「着るもの」などの”第二、第三”は、加えて与えられる(マタイ 6:33)。世の中、神の国を第一とする神の民は、「上」になるように出来ているが、神の民が、”第二、第三”にすべきを、第一に据えてしまうなら、世の中では「下」とならざるを得ない。

神の民・イスラエルが不従順であった時代、神は預言者エリヤを通して警告を与えた。「わたしの言葉のないうちは、数年雨も露もない」。(1列王記 17:1) 神の民全体が、リシオンを外した時代ゆえ、預言者もそのとぼちりを受けていたが、彼は主から養いを受ける。「立ってシドンに属するザレパテへ行って、そこに住みなさい。わたしはそのところのやもめ女に命じてあなたを養わせよう」(9 節)

そのやもめは、異邦の地シドンに住んでいたが、神を恐れ敬う女だった。しかし彼女も時代の罪のとぼちりを受け、彼女はもう最後のわずかな食料が残るのみで、それがなくなると、彼女も息子も死のうとしていた。その、最後の料理をするために、薪拾いをしている最中、彼女は偉大な預言者から声をかけられる。「器に水を少し持ってきて、わたしに飲ませてください」。彼女が行って、それを持ってこようとした時、彼は彼女を呼んで言った、「手に一口のパンを持ってきてください」。(10-11 節) 彼女はどう見ても人を養う能力も資力も無い。なぜ預言者を養うはずのやもめが、こんなにも貧しく追い詰められていたのか。なぜエリヤが遣わされた先は、イスラエルの誰かにはなく、シドンのこのやもめなのか。

その時代、イスラエルにも沢山やもめはいたが、預言者の言葉どおり主にリシオンする人は、イスラエルの中に一人もいなかった、という事である(ルカ 4:24-26)。それで主はエリヤを、彼女の食料が尽きる直前に到着するよう、彼女の元へ遣わされたのだ。主を敬う人への助けは、間に合わないという事は、決して無い。

主は、サレプタのやもめ女に命じてあなたを養わせよう、とエリヤに言ったが、どうも彼女は、主から命じられたような感じではない。それどころか、彼女にはその能力も持ち物も無い。どういう事だろう。

主は、当人に意識があっても無くても、当人に資力や力があっても無くても、その人の内に、主に對する「リシオン」があるかないかを見られ、その人に応じた志(ミニストリー)を起こさせ「命じる」のだ。(ピリピ 2:13)

その時、本人の能力や持ち物、時間、お金の有る無しは、一切関係無い。ただ「リシオン」があるか無いかは主の目に重要であり、その人は、起こされた志と使命感に突き動かされ、必要な物は全て主から与えられ、その人の「リシオン」を主が用いて時代を動かして行くのである。アブラハムのように、ハンナのように。

『エリヤは彼女に言った、「恐れるには及ばない。行って、あなたが言った通りにしなさい。しかし「まず(リシオン)」、それでわたしのために小さいパンを、一つ作って持ってきてなさい。その後、あなたと、あなたの子供のために作りなさい。『主が雨を地のおもてに降らす日まで、かめの粉は尽きず、びんの油は絶えない』とイスラエルの神、主が言われるからです。』(13-14 節) ある人はここから、エリヤを「人でなし」と評価する。万一、エリヤが食べて、そのままやもめと子供が死ぬなら、酷い話である。世の独裁者は、皆、そうする。

しかし主は「備え主」であり、主の言葉は「なくなって終わり」ではない。信仰ある人は、「主が雨を地のおもてに降らす日まで、かめの粉は尽きず、びんの油は絶えない」という主の言葉に、大きな希望を見出す。

希望の根拠は「イスラエルの神、主の言葉」であり、この言葉を非道いと取るか、それとも希望に取るかは、その人の信仰次第である。彼女はエリヤを通して主の言葉に、リシオンの行いで答えた結果、主の真実と奇跡が現れた。主の真実と奇跡を見るためには、単純に、主の御言葉どおり実行する事である。

こうして彼女は、主の言葉どおり、粉も油も本当に尽きず、自分も子供も、預言者も、それによって養われた。私達も、ファーストを主に据えるなら、主は私達を、不信仰な時代の罪のとぼちりから守り、全ての必要が満たされるのみならず、私達を、時代の「ファーストクラス」へと乗せ、歴史を変える役割を与えて下さるのだ。主へのリシオンを示し、時代を変える事に用いられて行くみなさんでありますように！

横浜天声キリスト教会 礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30～
2部礼拝 14:00

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜礼拝

金曜徹夜祈祷会 21:00～
1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube